

# 校訓「正直 勤勉 愛護 進取」 学校だより 特別号

(後期学校評価アンケートについて・学校評議員会および学校関係者評価委員会の報告)

～ぬくもりのある学校創り～

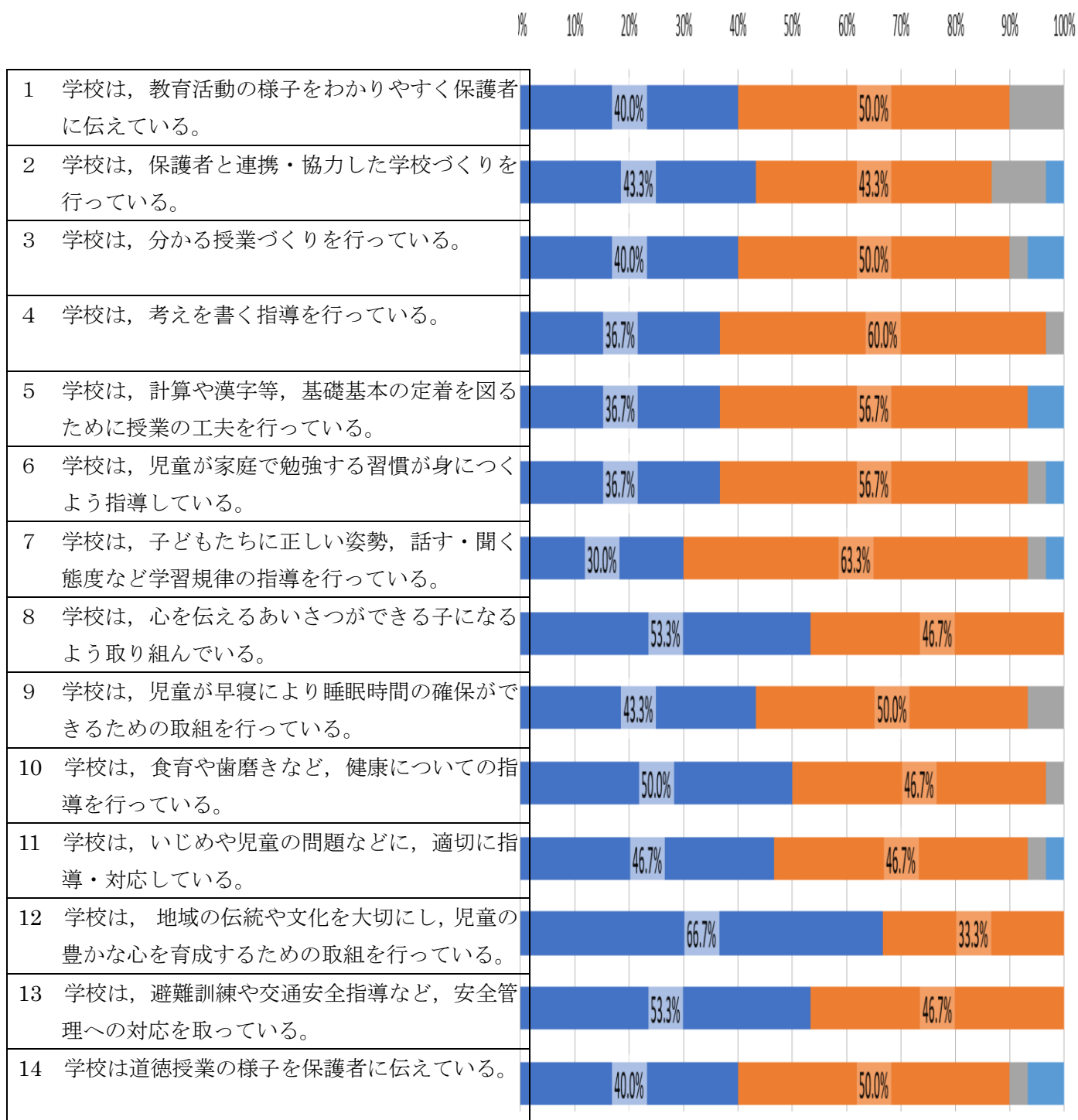
令和3年2月26日

笠野小学校長 香林 直晴

今回の特別号では、2学期末に実施した学校教育活動評価アンケートの結果と2月末に開催されました学校評議員会および学校関係者評価委員会で話し合われたことをまとめました。そして、そこから見えてきた成果と課題を保護者の皆様と共有し、今後も連携を図りながら健やかな児童の育成を目指していきたいと思えます。



## R2 後期保護者による学校教育活動についてのアンケート

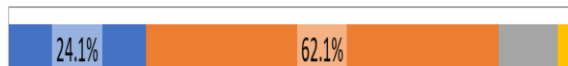


■Aできている ■Bだいたいできている ■Cあまりできていない ■Dできていない ■E分からない

## 家庭での生活調査結果

% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

① お子さんは、家庭学習に取り組んでいる。



② お子さんは、早寝により、十分な睡眠時間を確保している。



③ お子さんは、親子読書,週末読書など家庭での読書に取り組んでいる。



④ お子さんは、家庭や地域でのあいさつを行っている。



⑤ お子さんは、約束を決めて、メディアと付きあっている。



⑥ お子さんは、安全に登校し、不審者や事故から身を守るよう、気を付けている。



■Aできている

■Bだいたいできている

■Cあまりできていない

■Dできていない

■E分からない

### ○自由記述

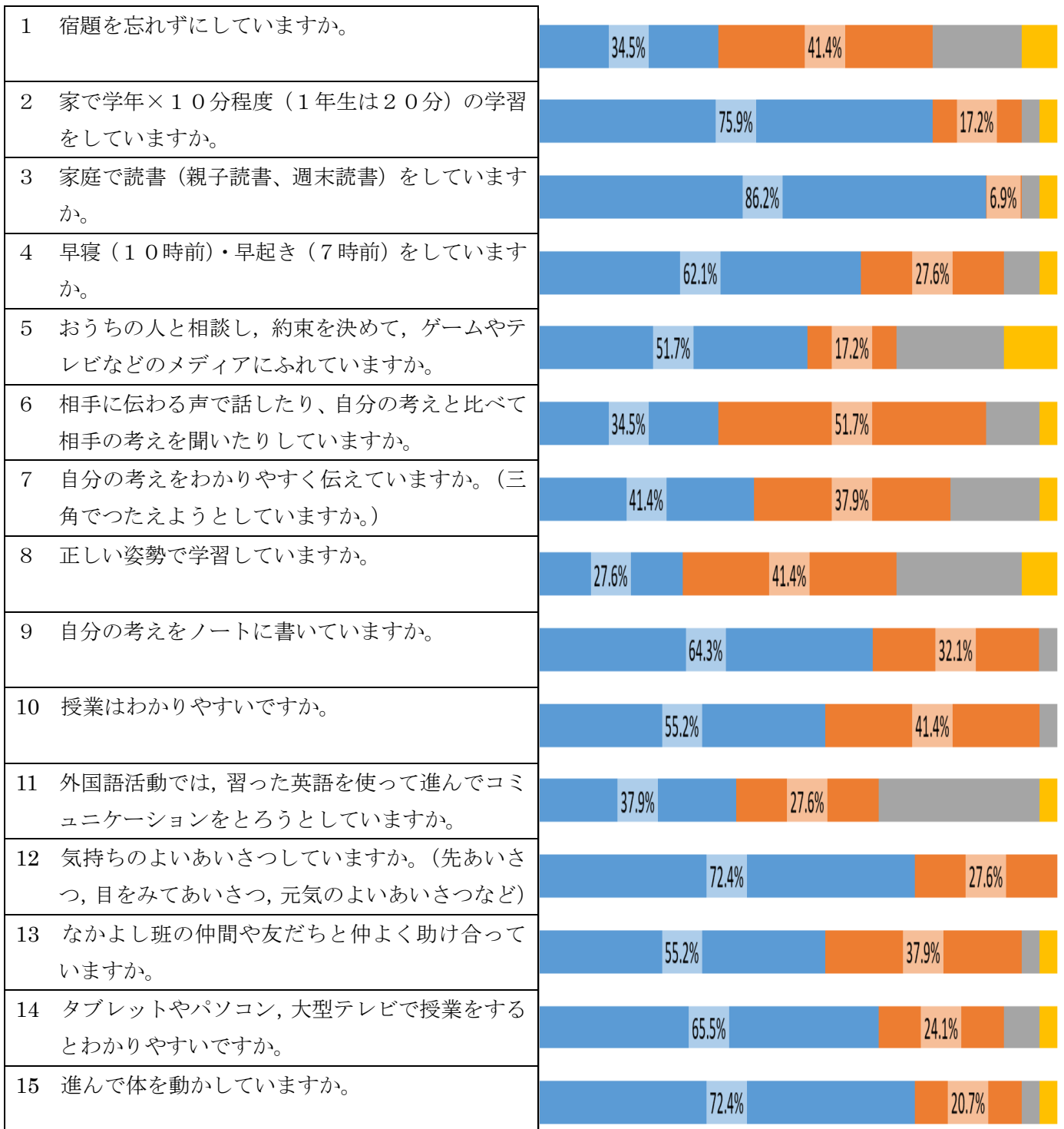
・このような状況の中でも、子供たちの活動を工夫していただき、感謝でいっぱいです。ありがとうございました。あと少し、よろしく願いいたします

・いつもありがとうございます。

→新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事の中止や活動の縮小など、学校生活にも大きな影響が出ましたが、この状況下でできる限りの活動を工夫しながら、子供たちの健やかな成長のために、職員一同頑張っています。今年度も残りわずかとなりましたが、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## R2 後期児童アンケート

■ Aできている ■ Bだいたいできている ■ Cあまりできていない ■ Dできていない



今回の結果で最も評価の高かった項目は、12「気持ちのよいあいさつしていますか。」で、A+Bが100%でした。また、9「自分の考えをノートに書いていきますか。」10「授業はわかりやすいですか。」でも、A+Bが95%以上に達し、こちらも高評価でした。今年度、教職員が、学校研究を通じ取り組んできたことが、成果として児童の姿に表れていることを感じます。また、3「家庭で読書（親子読書、週末読書）をしていますか。」13「なかよし班の仲間や友だちと仲よく助け合っていますか。」15「進んで体を動かしていますか。」の項目もA+Bが90%以上と高い結果でした。学習面だけでなく、生徒指導面や体力向上の面でも学校の取組が反映されている結果だと感じます。

一方で、8「正しい姿勢で学習していますか」や11「外国語活動では、習った英語を使って進んでコミュニケーションをとろうとしていますか。」では、評価が依然低く、できていると感じている児童は少ないようです。また、1「宿題を忘れずにしていますか」や、5「おうちの人と相談し、約束を決めて、ゲームやテレビなどのメディアにふれていますか。」も大きく評価が下がりました。学校での指導の充実を図り、児童の自覚を促すとともに、学校と家庭が連携しながら適切に児童に関わっていく必要があります。

# 学校評議員会・学校関係者評価委員会報告

2月19日（水）に学校評議員会・学校関係者評価委員会を開催しました。学校からは、以下のようなこれまでの学校の取組や児童の様子と前ページのアンケート結果や学力調査結果の説明をさせていただきました。

そして、評議員および関係者の皆様と以下のような意見の交換をいたしました。

## ① 読書の推進について

- ・週末読書について、保護者もともに読書をすればどうか。

☆家に帰るとゲーム機などメディアに触れる機会が多くなる。そのため、読書への意識が低くなる。

宿題は出しているが、親が帰る頃には、終わって好きなことをしているのではないか。読書を頑張っているのは、学校でだと思ふ。読書をしているからか、子供たちは、話すのが上手だと感じる。

- ・授業参観の様子、意見発表の姿は素晴らしい。少人数で、発表の機会が多いので、子供たちに話す力がついている。児童数が少ないことが、子供たちに良い結果をもたらしている。
- ・読書の後、感想を書かせているか。

☆短いものだが、書かせている。「わたしの本棚」という冊子子供たちに持たせている。

## ② 挨拶について

- ・田んぼ仕事に行くと、通りすがりの子供たちが大きな声で挨拶をしっかりとしてくれる。元気がよくて良い。
- ・小学生の挨拶はとても良い。大きくなると挨拶をしなくなる。続いてほしい。
- ・思春期に入ると難しくなる。

☆中学生も学校では挨拶をしている。特に部活動では、挨拶をしっかりとする子が多い。

- ・子供の挨拶に対して大人も返礼をする必要がある。挨拶が返ってくると子供も張り合いになる。大人の努力がいる。

## ③ 豊かな心を育む町民会議について

- ・グッド・マナーキャンペーンや子供郷土史講座についてなどの話が出た。河合谷の江口さんの禁酒の話が良かったようだ。笠野小でも話してもらえばよいのではないか。

☆子供郷土史講座は来年度、笠野小も申し込んでいる。教育長からは、河合谷の新施設のこけら落としに参加してはどうかと言われている。紙芝居などを見せながらわかりやすくお話してもらえるようだ。また、れきしの方々に津幡町の郷土史についての話をしてもらってもよい。

- ・記録が冊子となって残っていくので、笠野小でも取組を頑張ってもらいたい。学校地域連携事業として、七黒先生に教えてもらっている太鼓指導や畑、笠野の森の整備などを書いておくとよい。

## ④ 児童数の減少について

- ・今年は30名、来年は29名となる。7人抜けて6人入る。山北地区は、1名だけになった。蓮花寺はいるが、少子高齢化で、子供が減っているのが気がかり。津幡駅まで、車で5分、金沢駅まででも30分もあれば行ける。街中までとても近い。住みやすい場所なのだが…。

☆子供を育てるには、良い環境だと思う。小学校の間は、特に良い所だ。いずれにしても中学生になれば大きな所に行くことになる。

アンケートおよび学校評議員会・学校関係者評価委員会では貴重なご意見をいただきありがとうございました。今回いただいたご意見は職員で共通理解し、今後の指導・改善にいかしていきます。